

クリーン日光キャンペーン

日光市教育会の百七十人



清掃奉仕前の作戦会議

日光市教育会（安良沢小学校長 関口善勝会長）は、七月二十四日、会員約百七十人が参加し、湯滝、光徳、戦場が原、小田代が原など奥日光一帯の清掃奉仕を行いました。

この日は、小・中学校が夏休み中ということもあって、学校当番の職員と公務出張者を除いて全員が参加。二十人程度の班を八コー

スに分け、各自大きいビニール袋とハサミを手に、空かんなどの収集に汗を流しました。

このキャンペーンは、教職員自ららがクリーン日光を実践し、子供たちに範を示そうと行ったもので、これから毎年夏休み中に実施することになっています。

また、教育会では八月七日、関口会長と三木副会長（日光小学校長）が、市観光課長を訪ずれ、美化運動に役立ててくださいと、五万円を寄贈しました。

慰霊祭

戦没者のめい福祈る

終戦記念日の八月十五日、総合会館で日光市戦没者慰霊祭が、日光市遺族会連合会の主催でしめやかに執り行われました。

式は午前十時に始まり、法要の

あと、主催者と来賓が、戦没者五百五十柱に慰霊のこぼしを捧げ、遺族など出席者四百人が、銃経が流れるなか焼香を行い、戦没した方々のごめい福を祈りました。

海外研修

文挾利子さんが参加

栃木県婦人の海外研修が、八月二十四日から九月四日までの十二日間、アメリカとカナダを中心に実施されています。

日光市から、この海外研修の団員として、文挾利子さん（東和町 東中学校教諭）が選ばれ、八月

二十四日、元気に成田空港を飛び立ち現地へ活躍しています。

この海外研修は、婦人の海外交流の推進の一環として、ボランティア活動の先進国に婦人を派遣し、現地婦人との交流、交歓を行うほか、施設見学なども行い、ボランティアの国際的視野を広めることにより、本県での推進役となるリーダーを養成することをねらいとしています。

市民のひろば



戦没者慰霊祭

善意銀行

七月中に、日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に深く感謝します。敬称略

（現金預託）

- ◎市内要援護者に 知野イネ（稲3）千円 松島垂矢子外五名（清4）四千二百二十四円 ◎市内の恵まれない子に 古橋登喜子（所野）千円 植木善見（匠）二千元 ◎下野三楽園に 竹沢啓三（下鉢）千円 ◎市内身体障害者に 親和会孔版社有志（清2）四千元 ◎身体障害者友愛会に 匿名 四千元 ◎交通遺児に 松島垂矢子外

高山植物の敵

オオハンゴンソウ退治

戦場が原一帯に、帰化植物のオオハンゴンソウが著しく繁殖し、このまま放置しておくとも湿原植物の宝庫といわれる戦場が原の貴重な高山植物が絶滅するおそれがあります。このため、日光の自然を守る会、日光山草会など八団体から約百五十人が参加し、七月十二日に、高山植物の敵「オオハンゴンソウ」の抜き取りを行いました。このオオハンゴンソウは、根が深く、抜き取るにはなかなかの重労働。参加した人たちは汗だくになりながらも一本一本ていねいに引き抜いていました。



抜き取りに汗を流す会員

- 五名（清4）四千二百二十四円 ◎心身障害児父母の会に 小林芳樹（匠）一万二千元 ◎社会福祉に 日光市役所職員共済組合 二万円
- （物品預託）
- ◎市内保育所に 匿名 紙おむつ六百四十八枚 ◎身体障害者に 松本サイ（所野）松葉づえ二組 リッカー一個 紙おむつ三十枚 ◎身体障害児に 鶴島アヤ（安川）おしめ二十枚
- （香典返し廃止による預託）
- ◎社会福祉に 柴田豊久（匠）十万円 福田伸寿（上鉢）十万円 ◎老人福祉に 古川勝一（安良沢）五万円 ◎身体障害者に 松本サイ（所野）三万円